



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社バイテック

コード番号 9957 URL <http://www.vitec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 今野 邦廣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 理財部門 部門長 (氏名) 成瀬 達一

TEL 03-3458-4619

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	24,956	△5.6	261	74.8	318	75.0	295	146.5
25年3月期第1四半期	26,438	△6.9	149	12.8	182	11.8	120	213.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 384百万円 (135.6%) 25年3月期第1四半期 163百万円 (321.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	25.29	—
25年3月期第1四半期	10.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	39,137	9,529	24.3
25年3月期	34,069	9,320	27.4

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 9,529百万円 25年3月期 9,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	51,000	△5.5	450	20.0	600	46.3	470	101.7	40.19
通期	120,000	17.4	1,700	84.2	1,700	90.6	1,150	84.1	98.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	12,076,358 株	25年3月期	12,076,358 株
26年3月期1Q	382,437 株	25年3月期	382,437 株
26年3月期1Q	11,693,921 株	25年3月期1Q	11,694,050 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の関連事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月～平成25年6月)におけるわが国経済は、株高を支えに消費が活発化すると共に、円安を背景に企業の投資も一部好転し始めました。世界経済は米国の好調が続くものの、中国をはじめ新興国の高成長には陰りが見える状況となっております。

エレクトロニクス・情報通信分野におきましては引き続きスマートフォン・タブレットPCが市場を牽引する構図となっております。一方、テレビにつきましては、4Kテレビ等一部の画面モデルを除き低調に推移しており、デジタルカメラは、一眼レフ、ミラーレスを除き、コンパクトカメラがスマートフォンの普及により需要減となっております。WSTS(世界半導体市場統計)2013年春季予測によりますと、2013年の世界の半導体市場規模は2,978億ドル(約27兆4千5百億円)、前年比2.1%増となるものと予想されております。

環境・エネルギー分野におきましては、再生可能エネルギー固定価格買取制度の導入で、ソーラーエネルギーによる発電事業を中心とした業界の成長が引き続き予想されております。また、節電関連製品が堅調に推移しております。

このような状況下、当社グループでは車載向けIC、スマートフォン向けイメージセンサやタブレットPC向けWiFiモジュール/カメラモジュール等が好調に推移しました。また、太陽光発電の売電収入および関連製品が売上に貢献しました。一方、前下期の仕入先メーカーの再編に伴う商流変更の影響もあり、デジタルカメラ向けに小型液晶パネルの取扱いが減少しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は24,956百万円(前年同期比5.6%減)となりましたが、利益面につきましては、粗利益率の改善もあり経常利益は318百万円(前年同期比75.0%増)、四半期純利益は295百万円(前年同期比146.5%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### 1. デバイス事業

デバイス事業につきましては、自動車市場の好調を受け、車載向けオーディオ用信号処理ICおよび当期より取扱いを開始したナビ向けGPSモジュール等の販売が好調に推移しました。また、タブレットPC向けWiFiモジュールおよび照明向けLEDデバイス、液晶向け透明電極部品が好調に推移した他、従来型部品販売にハード・ソフト開発やモジュール化等を組み合わせた付加価値創造ビジネスもスタートしております。また、デジタルカメラ向けには新規に一眼レフカメラ用タッチパネル付き小型液晶やバッテリーが採用されましたが、顧客の生産台数見直しによるコンパクトデジタルカメラ用イメージセンサの販売減少に加え、仕入先メーカーの再編に伴う商流変更により小型液晶パネルの取扱いが減少し売上が減少しました。

その結果、デバイス事業の売上高は24,787百万円(前年同期比4.8%減)となりましたが、粗利益率の改善によりセグメント利益は367百万円(前年同期比102.5%増)となりました。

#### 2. 環境エネルギー事業

当社グループは安定的な事業発展を目指し新しいコア事業として環境分野へ進出しました。当期からは環境エネルギービジネスへ本格参入しております。具体的には当社グループが事業主となる福岡県小竹町、栃木県那須塩原市にそれぞれメガソーラー発電所を建設し売電事業を開始するとともに、性能や価格面で競争力のある環境商材をグローバルに調達する独自の商社機能を駆使して、地方自治体向けのメガソーラー発電設備の企画設計、建設、運営、保守管理、そして電力売買を行う新電力事業までを一貫して手掛けるシステムインテグレーターとしての地位を築き上げてきました。

当社グループでは、前期に自治体向けエネルギー地産地消の企画・提案等を行う㈱バイテックローカルエナジーを設立、2013年3月に再生可能エネルギー電力を中心に電気を購入し自治体・法人に電気を安価に提供する新電力会社㈱V-Powerを設立し、環境エネルギー事業に注力しております。

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月～平成25年6月)は、上記2発電所の売電収入が売上に寄与するとともに、太陽光発電ビジネス関連商材の売上が堅調に推移しました。しかしながら、ホームセンター、ドラッグストア向けに昨年度売上寄与したLED照明の新規案件減少により、販売金額が減少しました。

その結果、環境エネルギー事業の売上高は168百万円(前年同期比57.4%減)となりました。利益面につきましては、今後のビジネス拡大の販売体制構築による経費増加の影響等によりセグメント損失106百万円(前年同期比232.1%減)となりましたが、メガソーラー案件は順調に受注しており、第2四半期以降、本格的に売上に貢献するとともに大幅なセグメント利益計上する見込みです。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から5,068百万円増加し39,137百万円となりました。これは主に売掛金及び商品が増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末から4,859百万円増加し29,607百万円となりました。これは主に買掛金及び短期借入金が増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より209百万円増加し9,529百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成25年5月9日に公表いたしました平成26年3月期の第2四半期連結業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成25年8月7日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,262,464	1,923,299
受取手形及び売掛金	15,251,252	16,558,319
たな卸資産	9,470,265	12,136,167
未収入金	446,304	489,406
繰延税金資産	481,113	508,290
その他	483,839	619,549
貸倒引当金	△37,028	△39,719
流動資産合計	27,358,210	32,195,312
固定資産		
有形固定資産	5,014,354	4,993,450
無形固定資産		
ソフトウェア	79,148	76,731
その他	103,116	87,269
無形固定資産合計	182,264	164,000
投資その他の資産		
投資有価証券	128,800	153,237
長期貸付金	68,528	65,480
繰延税金資産	786,334	724,386
その他	585,151	895,579
貸倒引当金	△54,354	△53,904
投資その他の資産合計	1,514,460	1,784,780
固定資産合計	6,711,078	6,942,230
資産合計	34,069,289	39,137,542

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,030,397	14,327,549
短期借入金	7,641,895	10,593,580
1年内返済予定の長期借入金	940,000	850,000
リース債務	77,398	78,964
未払法人税等	118,986	50,292
賞与引当金	277,013	262,447
その他	991,729	1,014,999
流動負債合計	22,077,419	27,177,834
固定負債		
長期借入金	770,000	660,000
リース債務	1,275,269	1,262,274
繰延税金負債	39,439	44,106
退職給付引当金	215,590	219,776
資産除去債務	90,608	90,886
負ののれん	187,555	111,086
その他	92,837	41,966
固定負債合計	2,671,301	2,430,097
負債合計	24,748,721	29,607,932
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,503,864	4,503,864
資本剰余金	1,699,398	1,699,398
利益剰余金	3,504,020	3,624,385
自己株式	△231,589	△231,589
株主資本合計	9,475,693	9,596,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,556	15,757
繰延ヘッジ損益	△153,545	△105,506
為替換算調整勘定	1,187	22,760
その他の包括利益累計額合計	△155,914	△66,988
少数株主持分	788	540
純資産合計	9,320,568	9,529,610
負債純資産合計	34,069,289	39,137,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	26,438,674	24,956,507
売上原価	24,835,002	23,147,776
売上総利益	1,603,672	1,808,730
販売費及び一般管理費	1,454,074	1,547,262
営業利益	149,597	261,468
営業外収益		
受取利息	1,146	456
受取配当金	268	286
負ののれん償却額	76,468	76,468
為替差益	—	5,822
その他	37,224	19,942
営業外収益合計	115,108	102,977
営業外費用		
支払利息	18,975	28,506
債権売却損	16,362	6,045
為替差損	38,023	—
その他	9,161	11,154
営業外費用合計	82,522	45,707
経常利益	182,183	318,738
税金等調整前四半期純利益	182,183	318,738
法人税、住民税及び事業税	42,399	10,675
法人税等調整額	19,770	12,537
法人税等合計	62,170	23,212
少数株主損益調整前四半期純利益	120,013	295,525
少数株主損失(△)	—	△247
四半期純利益	120,013	295,773

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	120,013	295,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,739	19,314
繰延ヘッジ損益	113,341	48,038
為替換算調整勘定	△54,451	21,572
その他の包括利益合計	43,151	88,925
四半期包括利益	163,164	384,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,164	384,699
少数株主に係る四半期包括利益	—	△247

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	デバイス事業	環境エネルギー事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	26,042,911	395,763	26,438,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	26,042,911	395,763	26,438,674
セグメント利益又は損失(△)	181,635	△32,037	149,597

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	デバイス事業	環境エネルギー事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	24,787,871	168,635	24,956,507
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	24,787,871	168,635	24,956,507
セグメント利益又は損失(△)	367,864	△106,395	261,468

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、環境エネルギー事業の強化を目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の単一セグメントから、「デバイス事業」及び「環境エネルギー事業」の2区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。